

第59回全国肢体不自由特別支援学校 PTA連合会総会および校長会合同研究大会

平成28年8月23、24日に宮城県立船岡特別支援学校、拓桃支援学校が事務局となり宮城県仙台市のホテルメトロポリタン仙台にて開催されました。PTA担当職員1名とPTA会長小銭さん、顧問の黒川さんが参加しました。



むすび丸くんと
いっしょに



ワールドカフェ方式
での防災に関する
話し合い

開会式の後、「新しい学習要領がめざす姿」という演題で文部科学省の分藤氏の講演がありました。その後6つの分科会に分かれて提案校の発表を聞き、情報交換などをしました。2日目には、会員研修で東北の震災を経験された方のお話を聞き、その話をもとに防災についてワールドカフェ方式で話し合いを行いました。

感想

分科会では、「進路」に参加しました。提案校は福島県立平養護学校で、ある生徒の事例を聞きました。また、厚生労働省の佐々木氏より、障害者雇用対策の現状についての話がありました。社会の中で自分らしく生きていくための力をつけるにはどんな支援をしていけばよいかいろいろな意見がでました。障害の重さは関係なく、自分のセールスポイントをもっておくことは大切だなと感じました。会員研修では、震災を経験された方のお話を聞きました。まずは、普段から防災に関する対策をしておくことが必要であると思いました。

被災した方の体験は、とても強烈なものでした。障害のある子どもを連れての避難について具体的に考えなければいけないと思いました。

どこかで震災が起こって直後には備蓄品、避難場所についても考えますが、すぐに忘れてしまいます。いつも防災についての意識を高くもてるようにしたいと思います。